

2018情報通信月間参加行事 報告書

| | | | | |
|----------|---|-----|-------------------------|--|
| 行事コード | Ga003M | 行事名 | 滋賀ICT大賞2018受賞者プレゼンテーション | |
| 開催日 | 平成30年7月10日 | | 開催場所 | ホテル ポストプラザ草津 |
| 会場来場者人数 | 31 | | 実施結果に対する感想・反省等 | <p>主催団体である滋賀県地域情報化推進会議が実施した滋賀ICT大賞2018の最優秀賞受賞者によるプレゼンテーションを実施した。</p> <p>受賞作品は、過去の気象条件やイベント情報と電車の遅延・運休情報との相関をプログラムによってAIに学習させ、最新の気象条件等を自動で分析することで今日明日の電車遅延・運休確立を予測してくれるサービスであった。考案に当たっては、理工学を専攻する学生のインターン生が主体的に参加した。</p> <p>当プレゼンテーションでは、試行錯誤の過程も含めて、より簡便により制度の高い予測を得るために、どのような技術を活用することとしたものであるかについて、参加したインターン生が主となって丁寧に説明がされた。</p> <p>会場からは、「どうすれば受賞者のように、さまざまなツールの中から最も適切で安価なサービス・技術を見つけられるのか」とアドバイスを求める質問が出るなど、来場者にとっても時宜に合った内容であったことが伺われた。</p> |
| 本行事参加人数 | 42 | | | |
| Webアクセス数 | - | | | |
| 主催団体 | 滋賀県地域情報化推進会議 | | | |
| 実施行事概要 | <p>■受賞者プレゼンテーション</p> <p>○発表者 株式会社AloT 原田隆成氏、喜多村卓氏、竹中聖人氏</p> <p>内容 湖西線遅延予測LINEボット「オクレール」を考案するに至った経緯について。ボットに活用されているそれぞれの技術の特徴について。</p> | | | |



